

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

病院長名	佐藤 公治
所在地	〒466-8650 愛知県名古屋市中区和区妙見町 2 番地の 9
交通案内	地下鉄：名城線八事日赤駅下車 2 番出口すぐ バス：市バス妙見町行 八事日赤病院停下車

□ 病院の特徴

当院は、歴代院長が首尾一貫した方針で病院の進むべき方向性を定め、歴史と伝統である救急医療、高度医療、災害救護と国際救援、周産期医療、医療連携、研修医教育などを推進することによって現在の病院にまで発展してきました。

特に“研修医は病院発展の原動力”との考えのもと、研修医教育には最重点を置き研修医教育指導体制の充実を図ってきました。そして、さらなる充実した研修医教育を実現するため、2013 年 4 月から新たに臨床研修部を創設いたしました。

□ 研修プログラムの特徴

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院総合診療専門研修プログラム

【研修期間】3 年

新専門医制度において総合診療領域が 19 番目の専門医として新たに認められることになりました。これは、これからの日本の医療を考えてみたときに必要性が高いからこそ認められた領域で、まさにこれからの日本の医療を支えていく医師を養成していくプログラムだと思われます。日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院は、総合病院として、そして、三次救命救急センターとして、多彩な疾患、豊富な症例数をもとにこれまで、内科、外科、小児科、産婦人科など多領域の専門医を育ててきました。そして、その先生たちが、東海地方の多くの病院で今も活躍しています。今回、われわれが設定した総合診療のプログラムには、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の持つ優れた研修体制とプログラム設定に求められた地域医療の要素がベストミックスされています。日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の総合内科は設立後 10 年、一貫してホスピタリストを育ててきました。その一方で愛知県、北海道の地域病院での派遣研修を通して、医師の少ない地域での研修も組み込んで、あらゆる場面で通用する医師を育ててきました。その実績をもとにこれからは新たな専門医制度のもとでさらに総合診療専門医を育成していきたいと思えます。ジェネラリスト、ホスピタリストと呼ばれる医師はこれから本当に求められる医師になります。ぜひ、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の総合診療プログラムで多くのことを学んでもらえればと思います。



□ 主な連携施設

清水赤十字病院、東栄町国民健康保険東栄診療所、新城作手診療所、豊田地域医療センター

□ メッセージ

総合内科副部長・総合診療 PG 責任者/総合内科 吉見 祐輔

「地域医療をまとめるコンダクター」

私たち総合内科のドクターは「ホスピタリスト」、いわゆる「病院の中での総合医」でなければならないと考えています。急な発熱や体調不良など、体のどこに原因があるのかを特定しにくい患者さんの初診外来を担当していますが、診察をして終わりはありません。その患者さんが快方に向かうためには、今後どのような治療を行えばよいかを判断し、各専門医やナースなどをチームとして動かしておくという役割を担っています。わかりやすく言い換えるとオーケストラのコンダクター（指揮者）のような存在。各パートの調和を考え指揮を振るわないといい音楽が奏でられないように、総合内科のドクターがきちんと機能しないと、よい医療は行えません。それだけ責任のある仕事だと言えるでしょう。そこで、私たちに求められるのは、医療に関する広くて深い知識。あらゆることに精通し、引き出しをたくさん持っていることが大切になります。専攻医については、院内にある他の診療科や院外での研修など、幅広い知識を身に付けることができるプログラムを用意しました。総合内科は、これからの医療を新しく形づくる重要な存在。私たちとともに、その道を歩んでみませんか。

□ 募集要項

・採用予定人数	2 人
・給与/月額	3 年目 平均約 750,000 円/月
・当直回数/月	診療科によって異なる
・当直料/回	診療科によって異なる
・その他	
・応募連絡先	担当者 教育研修管理課 電話番号 052-832-1121 Eメール education@nagoya2.jrc.or.jp